

「グループホーム きぼう」活動状況報告

令和2年1月に開催した「運営推進会議」以降、新型コロナウイルスの感染予防対策の一環として、3月以降の運営推進会議の開催を見合わせています。前回、9月までの近況について報告させていただきましたので、11月までの近況を報告させていただきます。

経過

令和2年 10月 新型コロナウイルス感染予防対策のため、面会お呼び外出の自粛 継続
(シート等を利用し、3階エレベーター前にて実施。但し、年齢制限を解除、時間延長とする。)

行事等は行えないため、希望者と共に自動販売機にて飲み物を買う機会を作った。

11/30 現在

8名入居(内、1名入院中)

(伊奈町在住 3名・さいたま市 3名・上尾市 2名)

行事報告

特に行事は行ってはいない。

近況及び入居者の動向について

11月6日未明より、痙攣発作をおこす入居者が1名発生し、当直医の診断と家族の希望により、他院受診、そのまま入院となる。その後、経過についてご家族と連絡を取り合いながら、再入居に向けて調整をしていたが、入院先主治医より「状態は落ち着いてはいるが、グループホームでの生活継続は困難な状態。今後も、医学的管理下での療養が望ましい」との意見により、ご家族と協議の上11月30日をもって当所を退所することとなる。

10月下旬、のぞみ病院入院中の患者さんの家族より、当事業所に入所希望があるとのことで面談する。伊奈町在住の方なので、退院にあわせて入所となる。病院と協議し、11月24日当所入居となる。

介護職員の移動について

現在、7名の常勤介護職となっています。

「介護サービス情報の公表」制度に係る情報の報告について

毎年、介護保険法に基づいた「介護サービス情報の公表」制度に係る情報の報告ですが、今年度も無事に期限内に報告できました。この制度は、利用希望者やその家族の方、ケアマネ等、その事業所の情報をインターネットを用いて知り、また比較検討することができるものです。報告も、インターネット上にて報告するスタイルを採用しています。

今年度「地域密着型外部評価 評価機関」について

グループホームは、年に1回、埼玉県が認可している第三者機関が、外部評価として客観的にグループホームのサービスの質を評価されます。(当施設は、開設後5年を経過しましたので、2年に一度となります。)また、その結果は、インターネット上で公開します。

今年度も、従来と変更なく「NPO 法人 ケアマネージメントサポートセンター」と契約し実施することとなりました。今年度は2月9日(火)を予定しています。

「身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会」について

9/1 から今日現在までに、身体拘束及び虐待事例の報告はありません。

以 上